

2020 年 10 月 15 日

第 25 期日本学術会議新会員任命拒否に対する声明

日本時間学会理事会代表 学会長 一川誠

2020 年 10 月 1 日、日本学術会議が第 25 期の新会員として推薦した 105 名の候補者のうち、内閣総理大臣は 6 名を任命しませんでした。これに対して日本学術会議は任命しなかった理由の開示と、6 名を改めて任命することを要望しています。日本学術会議の協力学術研究団体である日本時間学会もこの要望を全面的に支持し、任命しなかった理由の開示と、6 名を改めて任命することを求めます。

日本時間学会には文系から理系まで時間にかかわる幅広い分野の研究者が参加し、純粋な興味に基づくものから実用を強く意識するものまで多様な研究を行っています。ここには様々な価値観がありますが、学会員に共通しているのは研究活動とは正しいことの探究であるという認識であり、正しいことの探究を通じて学問と社会に貢献しようとする態度です。正しいことの探求のために、事実と論理に基づいて合理的な判断を行うことが必要です。また疑義に対して率直かつ自由に意見を述べられることが大切です。

私たちはこの立場に立ち、内閣総理大臣が理由を明らかにすることなく 6 名の候補者を任命しなかったことを深く憂慮し、正しい理解と判断のために理由の開示を求め、またすみやかに 6 名の候補者を任命することを求めます。

以上